



令和6年11月8日（金）直方市役所8階大会議室において、令和6年度まちづくり研修会を実施しました。
 研修会①では、北九州市立大学の地域創生学群の学生3名が講師として、新入校区や植木校区で行っているフットパス活動についての話がありました。
 研修会②では、川口武壽氏（北朝鮮に拉致された日本人を救出する福岡の会筑豊地区常任幹事）解説によるアニメ「めぐみ」（政府：拉致問題対策本部 制作）を視聴しました。なお、法律により毎年12月10日から12月16日までを「北朝鮮人権問題啓発週間」とされていることについても説明がございました。

校区・自治区公民館からのお知らせ募集!!

あなたの地域や校区のイベントやお知らせを掲載してみませんか？
 掲載スケジュールは、年3回（6月・11月・2月）です。
 ●お申し込み／自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172）



今後のスケジュール

- 12月6日（金） 正副会長会議
- 12月13日（金） 理事会
- 12月13日（金） 第1回役員選考委員会
- 1月10日（金） 市長新春会談
- 1月10日（金） 市議会正副議長新春会談
- 1月24日（金） 福岡県公民館実践交流会
- 3月14日（金） 拡大事務局会



自分たちの「まち」は
自分たちで守る!!

直方市自治区公民館連合会

みんなで「住んで良かったと思えるまちづくり」直方市自治区公民館連合会は”1チーム”!

発行担当：自公連本部専門委員会・事務局（TEL070-1990-4172）／発行協力：直方市役所 防災・地域安全課

令和6年度直方市自治区公民館連合会・直方市環境衛生連合会合同視察研修会



令和6年9月27日（金）直方市環境衛生連合会との合同研修会で、久留米市東櫛原町の「福岡県少年科学館」及び「久留米広域消防防災センター」に行ってきました。久留米広域消防防災センターでは、防災研修として「煙体験」「初期消火体験」「地震体験」を行い、特に地震体験では過去に日本で起きた大きな地震（震度1～震度7）を実際に体験し防災への意識が高まりました。

第69回 福岡県公民館大会 令和6年8月7日（水）久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」



令和6年8月7日（水）久留米シティプラザ「ザ・グランドホール」で、『地域住民がウェルビーイングを実現できる公民館を目指して！』～人づくり・つながりづくり・地域づくり～をテーマとした第69回福岡県公民館大会に参加しました。全国有数の取組について事例発表や講話を通して学ぶことで公民館の機能と果たすべき役割を再認識することができました。

第3回 福地校区全域避難訓練 令和6年10月6日（日）福地小学校体育館



訓練が地域を守り身を守る



令和6年10月6日（日）福地校区自主防災会が主催し、福地校区社会福祉協議会との共催で「第3回福地校区全域避難訓練」を実施。地域全体での防災力向上を図りました。訓練には述べ150名が参加し、地域全体で防災意識を高める良い機会となりました。

本部専門委員会報告

2024年8月22日 消防署員の増員要望

直方市自治区公民館連合会（自公連）は、正副会長および本部専門委員会合同会議で協議の上、大塚進弘直方市長、田代文也直方市議会議長、宗近正道消防長に対して、消防署員の定数増員を求める要望書を提出しました。要望書では、直方市消防本部の現状について、職員定数が62名で、国の「消防力の整備指針」に基づく必要数（120名）の約半数に留まっていることが問題視され、災害発生時や緊急対応における人員不足が市民の安全に直結する懸念があると訴えています。

2024年9月7日 助成金不正受給に関する問題提起

2024年9月7日、自公連の推薦による評議員が、社会福祉法人直方市社会福祉協議会（市社協）に対し、赤い羽根配分金を原資とする助成金不正受給の疑いに関する調査と説明を求める質問状を提出しました。

この質問状では、令和2年度から令和4年度にかけて市社協が運用した助成金制度において、特定の校区社会福祉協議会が赤い羽根共同募金の配分金（交付申請に基づき毎年上限10万円）を不正に受給していた疑いがあることを具体的に指摘しました。

その後、質問状提出を受けて直方市が市社協に対して指導監査を実施。その結果、令和2年度分10万円、令和3年度分10万円、令和4年度分10万円の助成金が不適切に受給されていたことが判明しました。これらの金額は令和5年度に返還されていましたが、この不正受給については理事会や評議員会には何ら報告されていませんでした。

市社協は、この不正受給を見逃した理由について、直方市に対し「コロナ禍による生活相談等の業務で多忙だったため」と回答しています。しかし、この説明に対しては不十分であるとの声もあり、より具体的な経緯や再発防止策が求められています。

また、情報開示請求を行った評議員に対し、書類開示が遅延したうえで「評議員に書類閲覧の権限はない」として一度拒否するなど、不誠実な対応が問題視されています。この対応を受け、組織全体としての説明責任と透明性の確保が強く求められています。

自公連本部専門委員会は、市社協の正常化のため、3年以上にわたり改善に取り組んでいます。今後も助成金の適正運用と信頼性の確保に向け、引き続き尽力していく方針です。

本件に関心をお持ちの方は、自公連または市社協にお問い合わせください。透明性のある運営を進めるため、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2024年10月26日 保健福祉センター工事説明会

保健福祉センター工事説明会が開催され、直方市保健福祉センターの建築工事に伴い、中央公民館の駐車場が一時的に利用できなくなることが説明されました。代替として、中央公民館裏に仮設駐車場が設置され、河川敷にも追加の駐車場が用意されています。当初は身障者用の駐車枠が1台分のみでしたが、本部専門委員長からの提案要望を受け、身障者用駐車枠が6台分に増設されることが決定しました。これにより、身障者や妊婦さんなど、移動に配慮が必要な方々の利便性が向上し、公共施設のバリアフリー環境がさらに充実しました。

2024年11月4日～11月6日 能登半島地震被災地の視察

自公連防災・防犯分科会および本部専門委員長の立場で自費にて能登半島地震の被災地である穴水町と輪島市を視察しました。被害状況や復旧進展を学び、直方市の防災対策強化に活かせる貴重な知見を得る機会となりました。

11月4日、小倉駅から新幹線や在来線を使い、金沢駅で下車、更にレンタカーで現地に向かいました。11月5日には穴水町役場にて被災者支援について説明を受け、復興へ向けた地域の前向きな取り組みを確認しました。その後、輪島市を訪れ、家屋倒壊や道路陥没の被害を確認し、観光業への深刻な影響について現地住民の切実な声も耳にしました。

自公連は、これらの活動を通じて、地域の安全と福祉の向上を目指して取り組んでまいります。今後も地域福祉の向上と防災対策の強化を進め、関係団体と連携を深めながら、安全で住みよい地域づくりに貢献していく方針です。

